

鉄道交差点に関する
調査表記入マニュアル

[C070] 鉄道交差点基本

この調査表は、道路と鉄道の平面交差及び立体交差に関する基本的データを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

- (1) データは次の単位で作成する。
 - 交差点1箇所毎とする。
 - 交差方式毎とする。
- (2) 鉄道交差点に関する鉄道事業者名、鉄道線名については「C071鉄道交差点鉄道事業者」にて作成する。
- (3) 鉄道交差点に関する写真・図面類については「C072鉄道交差点図面類」にて作成する。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(Y) 所在地：◆

該当する区間の所在地（字番地まで）について、30文字以内の日本語で記入する。

(Z) 交差方式C：◆

鉄道交差点の交差方式について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
立体交差	1
平面交差	2

(AB) 単複線区分C：◆

鉄道交差点と交差している鉄道線が単線か否かについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
単 線	1
単線以外	2

(AD) 協定有無C

関連省庁等との間の協定がなされているか否かについて、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	1
有 り	2

(AF) 土地所有者

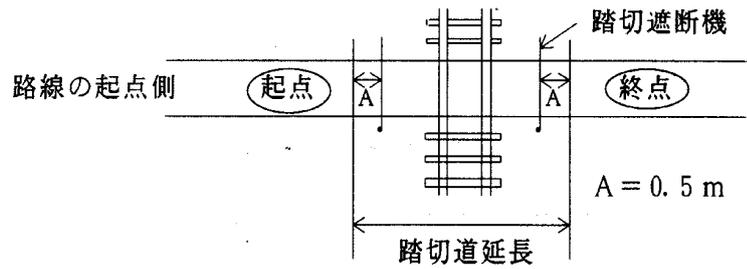
鉄道交差点の土地について地権者名を、15文字以内の日本語で記入する。

以下で取り扱っている（AG）～（BN）の項目については、立体交差の場合は該当なしとして‘*’を記入する。
--

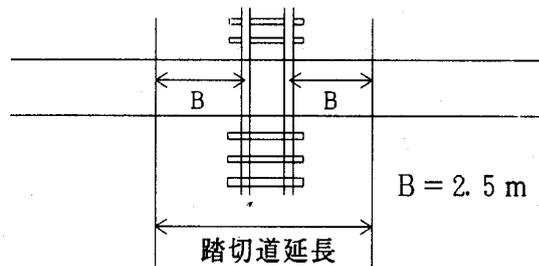
(AG) 延長（m）：◆

鉄道交差点の起点から終点までの実延長を、小数点以下1位まで記入する。

- 踏切遮断機等の踏切施設がある場合、当該施設の外側0.5mの線間をいう。



- 踏切施設がない場合、最外側軌条の内側より2.5m外側の線間をいう。



(AH) 幅員 (m) : ◆

踏切における道路幅員を、小数以下1位まで記入する。

(記入例) B = 12.45 m → 12.5

(AI) 歩道等施設有無C : ◆

歩道等施設の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	0
有 り	1

(AK) 歩道等施設区分C : ◆

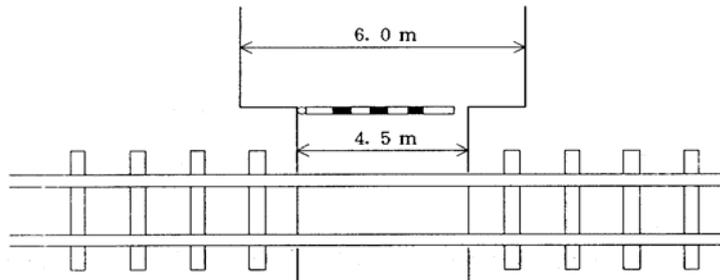
歩道等施設の区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード	区 分	コード
(歩車道区分あり)		地下横断歩道 階段式	5
平面交差で歩車道分離	1	スロープ式	6
(立体交差で歩車道分離)		押上げ式	7
横断歩道橋 階段式	2	歩道等のみ平面交差	8
スロープ式	3		
押上げ式	4		

(AM) 起点側対道路幅員差符号C : ◆

踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の幅員差の符号区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
＋（プラス）	1
－（マイナス）	2



(A0) 起点側対道路幅員差 (m) : ◆

踏切から見て取付道路（道路部）に対する起点側の道路幅員差を、小数点以下1位まで記入する。

(AP) 終点側対道路幅員差符号C : ◆

(AM) 起点側対道路幅員差符号Cと同様に、終点側の幅員差の符号区分について、該当するコードを記入する。(AM) 起点側対道路幅員差符号Cのコード表と同様

(AR) 終点側対道路幅員差 (m) : ◆

(A0) 起点側対道路幅員差と同様に、終点側の道路幅員差を、小数点以下1位まで記入する。

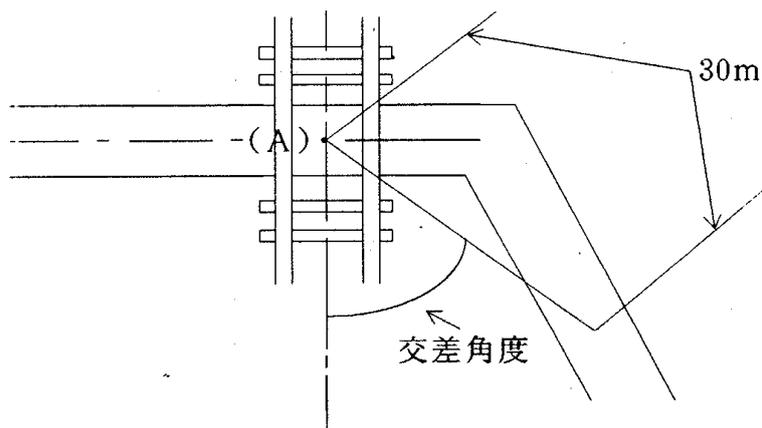
$$\text{踏切道幅員 (4.5 m)} - \text{道路幅員 (6.0 m)} = -1.5 \text{ m}$$

(記入例) ……起点側対道路幅員差符号 ———> 2 (マイナス)

起点側対道路幅員差 ———> 1.5

(AS) 交差角度 (度) : ◆

鉄道交差点の中心線と最縁端軌道の中心線の交点 (A) から外方道路の中心線上30mの地点と (A) 点を結ぶ線と最縁端軌道の中心線との交角を記入する。



直角に交差する場合は「90」を記入し、それ以外の場合には最鋭角を記入する。また、交差角度が起点側、終点側で異なる場合は狭い方の角度を記入する。なお、路線の起終点が袋小路により30m未満の場合は、上記にかかわらず、路線の起終点からの交差角度を記入する。

(AT) 起点側道路勾配符号C : ◆

鉄道交差点に向かって上り勾配を+ (プラス)、下り勾配を- (マイナス) とし、起点側の道路勾配の符号について、該当するコードを記入する。

(AM) 起点側対道路幅員差符号Cのコード表と同様。

(AV) 起点側道路勾配 (%) : ◆

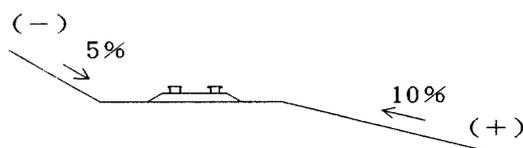
起点側の道路勾配を%単位で記入する。なお、勾配を計る場合、鉄道交差点端から道路の中心線上30mの地点でとるものとする。

(AW) 終点側道路勾配符号C : ◆

(AT) 起点側道路勾配符号Cと同様に、終点側の道路勾配の符号について、該当するコードを記入する。(AM) 起点側対道路幅員差符号Cのコード表と同様。

(AY) 終点側道路勾配 (%) : ◆

(AV) 起点側道路勾配と同様に、終点側の道路勾配を記入する。



(記入例)

- | | | |
|-----------|-----|-----------|
| 起点側道路勾配符号 | ——> | 2 (-マイナス) |
| 起点側道路勾配 | ——> | 0.5 |
| 終点側道路勾配符号 | ——> | 1 (+プラス) |
| 終点側道路勾配 | ——> | 1.0 |

(AZ) 路面区分C：◆

鉄道交差点内の路面状況について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
未舗装道 (舗装道)	1
コンクリート系	2
アスファルト系	3
木 系	4
石 系	5
そ の 他	9

(BB) 起点左側見通し距離C：◆

(BD) 起点右側見通し距離C：◆

(BF) 終点左側見通し距離C：◆

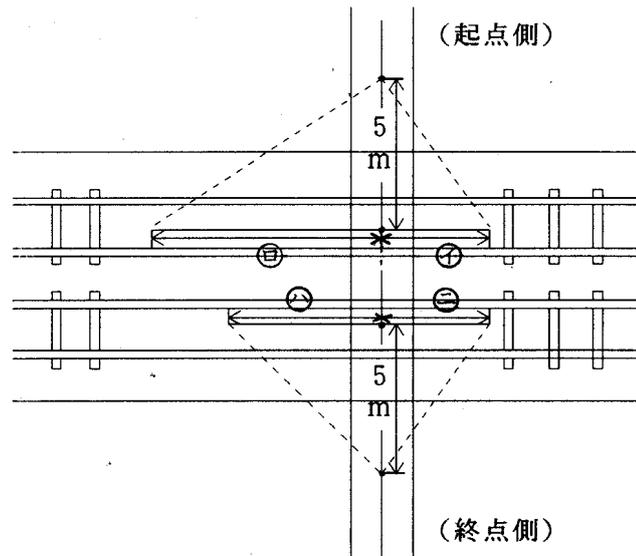
(BH) 終点右側見通し距離C：◆

上記 (BB) ～ (BH) の記入方法については、踏切からの列車の見通し距離を起点側、終点側別及び左、右別について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
(見とおし距離)	
50m 未満	1
100m "	2
150m "	3
200m "	4
250m "	5
300m "	6
300m 以上	7

注)

注) 見とおし距離とは、鉄道交差点における最縁端軌道の中心線と道路の中心線との交点から軌道の外方道路の中心線上5mの地点における1.2メートルの高さにおいて、見通すことができる軌道の中心線上当該交点までの長さをいう。



起点側

(イ) 左見通し距離

(ロ) 右見通し距離

終点側

(ハ) 左見通し距離

(ニ) 右見通し距離

(BJ) 起点側道路交差点距離 (m) : ◆

(BK) 終点側道路交差点距離 (m) : ◆

上記 (BJ)、(BK) の記入方法については、鉄道交差点の起終点から50メートル以内にある道路交差点 (立体交差を除く) を対象として、起点側、終点側別に鉄道交差点の起点、終点から道路交差点の中心までの距離を記入する。

なお、対象となる道路交差点がない場合は「*」を記入する。また、鉄道交差点の起点、終点については (AG) 延長の項を参照のこと。

(BL) 踏切道種別C : ◆

踏切道区分について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
第一種踏切道	1
第二種踏切道	2
第三種踏切道	3
第四種踏切道	4

注)

注) 第一種踏切道とは、踏切警手を常時配置するかまた自動踏切遮断機を設置しているものをいい、第二種踏切道とは、一定時間を限り踏切警手を設置しているものをいう。

また、第三種踏切道とは、踏切警報機を設置しているものをいい、第四種踏切道とは、第一種から第三種に該当しないものをいう。

(BN) 遮断時間 (分) : ◆

列車の通行により、道路交通が遮断される時間を記入する。なお、遮断時間は1日に生ずる延べ遮断時間を記入する。

遮断時間は測定値を原則とするが、実測が困難な場合には次式により算出したものでよい。

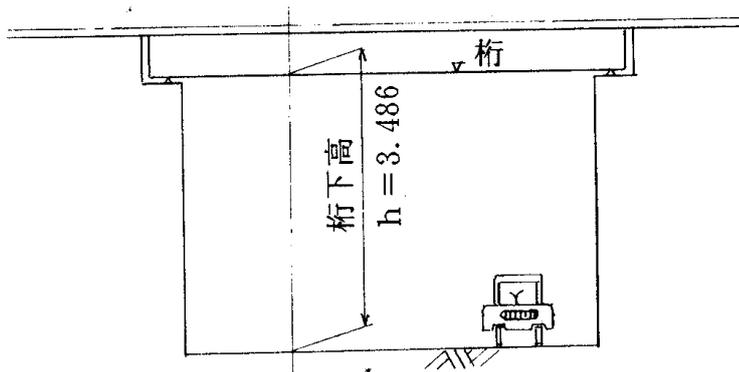
$$\text{(算式)} \quad 1 \text{ 日の列車通行回数} \times 1 \text{ 分} = \text{遮断時間}$$

(BO) 跨線地下道名

立体交差の対象名称（跨線名、地下道名等）を、10文字以内の日本語で記入する。

(BP) 最小桁下高 (m) : ◆

立体交差の最小桁下高を、小数点以下2位まで記入する。なお、平面交差の場合は該当なしとして‘*’を記入する。



最小桁下高 (記入例) $h = 3.486$ mの場合 ——> 3.49

(BQ) 鉄道上下別C : ◆

立体交差している鉄道が道路に対し、上・下どちらに位置するか、該当するコードを記入する。

区 分	コード
道路に対し鉄道が上	1
〃 鉄道が下	2

(BS) 備考1

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(BT) 備考2

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(BU) 備考3

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(BV) 市区町村自C：◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401
(検査数字は含まない)

(BX) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403
(検査数字は含まない)

〔C071〕 鉄道交差点鉄道事業者

この調査表は、鉄道交差点における鉄道事業者名、鉄道線名に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 「C070鉄道交差点基本」の作成単位毎とする。
- 鉄道事業者毎とする。
- 鉄道線名毎とする。

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (G-1) 現旧区分
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記(1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(G-1)、(H)、(I)、(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」、§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 鉄道事業者名C：◆

該当する鉄道事業者名をコードで記入する。使用するコードは「道路施設現況調査提要」の付

録の「道路施設現況調査コード」とする。

(記入例) 鹿児島市交通局の場合 ——> 201

(R) 鉄道線名C：◆

該当する鉄道線名をコードで記入する。使用するコードは「道路施設現況調査提要」の付録の「道路施設現況調査コード」（鉄道事業者名コード+鉄道線名コードを合わせた6桁）とする。

(記入例) 東海道本線の場合(東海旅客鉄道(株)+東海道本線) ——> 130001

上越新幹線の場合(東日本旅客鉄道(株)+上越新幹線) —> 120903

なお、各新幹線との交差点箇所については、下記の区分より該当する鉄道線名コードで記入する。

区 分	コード	区 分	コード
東海道新幹線	901	山形新幹線	905
山陽新幹線	902	秋田新幹線	906
上越新幹線	903	北陸新幹線	907
東北新幹線	904	九州新幹線	908

(T) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/2

C070：鉄道交差点（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
所在地	全角30文字		○	○
交差方式C	半角1文字		○	○
単複線区分C	半角2文字		○	○
協定有無C	半角1文字			○
土地所有者	全角15文字			○
延長	99.9	m	○	○
幅員	99.9	m	○	○
歩道等施設有無C	半角1文字		○	○
歩道等施設区分C	半角1文字		○	○
起点側対道路幅員差符号C	半角1文字		○	○
起点側対道路幅員差	99.9	m	○	○
終点側対道路幅員差符号C	半角1文字		○	○
終点側対道路幅員差	99.9	m	○	○
交差角度	99		○	○
起点側道路勾配符号C	半角1文字		○	○
起点側道路勾配	99	%	○	○
終点側道路勾配符号C	半角1文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

C070：鉄道交差点（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
終点側道路勾配	99	%	○	○
路面区分C	半角1文字		○	○
起点左側見通し距離C	半角1文字		○	○
起点右側見通し距離C	半角1文字		○	○
終点左側見通し距離C	半角1文字		○	○
終点右側見通し距離C	半角1文字		○	○
起点側道路交差点距離	99	m	○	○
終点側道路交差点距離	99	m	○	○
踏切道種別C	半角1文字		○	○
遮断時間	9999	分	○	○
跨線地下道名	全角10文字			○
最小桁下高	99.99	m	○	○
鉄道上下別C	半角1文字		○	○
備考1	全角50文字			○
備考2	全角50文字			○
備考3	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C071：鉄道交差点（事業者）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分C	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
鉄道事業者名C	半角3文字		○	○
鉄道線名C	半角6文字		○	○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照